



宿南ふれあい号

デマンド運行を開始しました



10月1日から従来の定時定路運行からデマンド運行に変わりました。

デマンド運行とは、予約に応じて時刻・運行経路を決定する乗合バスのことです。宿南地区内では乗り降りが自由です。自宅付近からでも乗降が可能です。地区外には出られません。利用時間帯は7:15～17:30の間です。運行日は、原則 月・水・金 ですが、土日等のイベント時は臨時便を運行します。それ以外で利用したい時は、宿南地区自治協議会に相談して下さい。(662-3400)

運行の開始にあたり、ふれあい倶楽部駐車場で午前10時から養父市市議会議員 西田雄一様、養父市まち整備部部长 柳川 武様 他2名様、そうあくんを来賓に迎え、各区長及び有償バス関係者出席のもと、出発式を挙行了しました。

出発式後、寄宮区、門前区の方々が、早速 宿南ふれあい号を利用してふれあい倶楽部に来られ、「喫茶ひまわり」でコーヒーを飲まれました。喫茶コーナーでは、久しぶりに出会う方もあり、楽しく話が弾んでいました。11月末までは、お試し期間で無料運行していますので、試しに一度 利用して下さい。



稲刈りを体験しました



9月16日(火)小学校田の稲刈りを3・4・5年生で行いました。5月に田植えをした苗も金色に色づき、たわわに稲穂つけており、営農組合の皆さんの指導の下、稲を刈り、束ね、稲木に掛けるという一連の作業を行いました。



身近で見られる植物 ⑤②

レモンエゴマ〈シソ科〉

一見青じそのように見えますが、葉の形はエゴマに似ています。しかしエゴマとは違って、レモンの香りがするため、牧野富太郎がこの名前を付けたようです。元々日本にある在来種なのですが、食用にすることはないので、シカも食べない植物のため、荒地などにどんどん広がっています。なぜ、最近急激に勢力を広げているのでしょうか？



‘喫茶ひまわり’ からのお知らせ

10月20日(月) 23日(木)

お楽しみデー♪ 手作りプリンです
是非お越しください。



ふれあい号のデマンド運行がお試し期間中で
11月30日までバス代無料です！(予約必要)

この機会を利用して美味しいコーヒーを飲みにお越し下さい。

お家の近くで乗車できます。

どうぞ、ご利用下さい。



100円

お知らせ

10月22日(水) 議会報告会 19:00~ ふれあい倶楽部ホール
10月26日(日) 村民号(平等院鳳凰堂)
10月29日(水) 人権学習会 19:00~ ふれあい倶楽部ホール
11月30日(日) 宿南地区文化祭(午前 小学校 午後 地区)



草庵先生紹介

日記 80



豊岡藩陣屋の建物は現在ほとんど残っていない中、珍しく残る当時の門の一部。陣屋のどこに使われていたかは不明だが、現在は豊岡市京町の「めぐみ公園」入り口の門として使われている

濱篤さん作

生野の変以後、草庵は豊岡藩にもたびたび講義に出かけた。「(前略)午後、豊岡藩家老猪子左京太、藩主の名代として来訪。しばらく話をした後退去(後略)」(元治元<1864>年11月1日)

猪子は豊岡藩の筆頭家老で、藩主京極高厚の使いとして青谿書院を訪問した。そして豊岡藩に来て講義をしてほしいと要請したのだ。この年は、福知山藩への出講を9月末に終えたばかりであったが、草庵は引き受けた。

「早起き。朝食後、豊岡藩の迎え来る。芳太郎と亡き盛之助の妻が手伝ってくれて、出かける装束をする。芳村謙介従う。夜、豊岡に着く」(同月11日)

豊岡藩に着くと、草庵は藩校の稽古堂で藩主や藩士に講義をした。草庵が豊岡藩で講義をするのはこれが最初ではない。草庵は年若いときから招かれていた。草庵がまだ京都の松尾山中で修行していた27歳の頃、帰省した時に豊岡藩に招かれたことがある。藩の家老舟木子新が草庵を高く評価していたのだ。その時には20日余りも、藩の関係者に講義をした。その時舟木は藩儒として武士になるように勧めたが、草庵は辞退している。「草庵先生と青谿書院」養父市教育委員会編から)

この豊岡藩での講義を終えて、松尾山に帰ったとき草庵は舟木宛てに次のような手紙を書いた。その内容は草庵の生涯を貫く学問の基礎が表れているものであった。

「人は生まれたときから、人の不幸を平気で見ておれない心、思いやりの心など本心(仁)が備わっている。この心を自分の中にはっきりと認め、それを育てていく必要がある。そのためには人が見ていなくても自分を律し自分をあざむかないこと(慎独)などの修養を積み重ねていかなければならない」(前掲書から意識)

生野の変の後は、豊岡藩との関係はさらに深まった。それは「変の後、藩の重臣たちは、草庵を儒官と同じような立場で藩校(稽古堂)の講師に招くことを決めた」(青谿書院開塾150周年記念誌 宿南保「池田草庵と豊岡藩」から)からであった。

池田草庵先生に学ぶ会